

- 問1 平塚らいてうが、市川房枝らとともに進めた運動の目的は何ですか。
- 問2 1871年に廃藩置県が行われたあと、新しく置かれた府県はだれが治めることになりましたか。
- 問3 戦争中の日本で「配給制」という仕組みが始められたのはなぜですか。
- 問4 大隈重信が、立憲改進黨という政党を結成したのは、どのようなことにそなえるためですか。
- 問5 1951年に日本が48か国と結んだ、翌年に日本が独立を回復することになった条約は何ですか。
- 問6 明治政府のやり方に不満を持った鹿児島県の士族（武士）たちが、西郷隆盛をリーダーとして起こした、日本で最後となる大きな反乱は何といいますか。
- 問7 明治時代に、板垣退助たちが中心となって「国会を開いて国民の声を聞くべきだ」と訴えた政治運動を何といいますか。
- 問8 西南戦争が終わった後、政治を変えようとする人たちの動きは、どのように変化していききましたか。
- 問9 大隈重信が中心となって結成された政治団体（政党）の名前は何ですか。
- 問10 日中戦争の際、日本軍が南京を占領したときにおきた、多くの中国人が殺された事件を何といいますか。
- 問11 1873年に明治政府が出した、20才になった男子に兵役（兵隊になること）の義務を負わせる命令を何といいますか。
- 問12 明治政府が鹿鳴館を建てて、そこで舞踏会などを開いたのはどのような目的のためですか。
- 問13 1874年に国会開設の要望書を政府に提出して自由民権運動のきっかけをつくり、のちに自由党を結成した人物はだれですか。
- 問14 明治新政府が「殖産興業」の政策を進める中で、近代産業を発達させるために積極的に取り入れたものは何ですか。
- 問15 1978年に、日本と中国との間で結ばれた条約は何ですか。
- 問16 明治政府が「四民平等」を進めたことによって、平民の人々ができるようになったことは何ですか。
- 問17 1918年に起きた米騒動は、どこの県から始まって全国へと広がりましたか。
- 問18 日本がサンフランシスコ平和条約と同時に、アメリカとの間で結んだ条約は何ですか。
- 問19 1925年に始まったラジオ放送は、日本の歴史の何時代に始まりましたか。
- 問20 日本と中国の間で「日中平和友好条約」が結ばれたのは、西暦何年ですか。
- 問21 日本が大韓民国（韓国）との間で日韓基本条約を結んだのは、西暦何年ですか。
- 問22 1911年に、日本が自国で税率を決める権利（関税自主権）を取りもどす条約改正に成功した外務大臣はだれですか。
- 問23 大正時代の産業の発展や人々のくらしの変化の中で、1925年に始まった放送は何ですか。
- 問24 明治時代に、国民の政治参加を求めて「自由党」をつくった人物はだれですか。

## 答え合わせ・解説 No.5

|     |  |   |
|-----|--|---|
| 問1  | <b>答え</b><br>女性の権利獲得や地位向上をめざすこと          | 平塚らいてうは、女性の権利や地位を高めるための運動を市川房枝らとともに進めました。   |
| 問2  | <b>答え</b><br>政府が任命した役人                   | 廃藩置県によって各地の藩は廃止され、政府が新しく任命した役人が府県を治めることになりました。  |
| 問3  | <b>答え</b><br>戦争が長引いて、国内の食料品などの物資が不足したから。 | 戦争が長引き、国内の食料品などの物資が不足したため、国が割り当てて配る必要がありました。  |
| 問4  | <b>答え</b><br>国会を開設すること                   | 大隈重信は、国会が開設されることにそなえて立憲改進黨を結成しました。  |
| 問5  | <b>答え</b><br>サンフランシスコ平和条約                | 1951年に日本が48か国と結んだ条約をサンフランシスコ平和条約といいます。この条約によって、日本は翌年に独立を回復しました。   |
| 問6  | <b>答え</b><br>西南戦争                        | かつて武士だった人たちが、新しい政府の改革に反対して起こした武力による争いです。この戦いに敗れたことで、武力を使って政府に立ち向かう動きは終わりを迎えました。                                       |
| 問7  | <b>答え</b><br>自由民権運動                      | 当時の政府が少数の人々だけで政治を決めていたことに対し、板垣退助たちが国民も政治に参加する権利があると考え、国会の開設などを求めて立ち上がった運動です。この運動が広まったことで、のちに日本で初めての議会が開かれることにつながりました。 |
| 問8  | <b>答え</b><br>話し合いで国会を開くことを求める運動に変わった     | 西南戦争で士族による武力反乱が失敗したことで、それ以降は、力づくではなく言葉や議論を通して政治に参加しようとする「自由民権運動」が主流になっていきました。   |
| 問9  | <b>答え</b><br>立憲改進黨                       | 大隈重信は、板垣退助の自由党とは別に、立憲改進黨という政党を結成しました。これらの政党は、それぞれが政府に対して政治の变革を求め、日本が国会を開く準備を進める原動力となりました。                             |
| 問10 | <b>答え</b><br>ナンキン事件                      | 日中戦争の際、日本軍が南京を占領したときに、多くの中国人を殺害した事件をナンキン事件といいます。  |
| 問11 | <b>答え</b><br>徴兵令                         | 1873年に出された、20才になった男子に兵隊になる義務を負わせる命令を徴兵令といいます。   |
| 問12 | <b>答え</b><br>日本の近代化が進んでいることを外国に伝えるため     | 明治政府は、日本の近代化が進んでいることを外国にアピールするために、鹿鳴館で舞踏会などを開きました。  |
| 問13 | <b>答え</b><br>板垣退助                        | 板垣退助は、国民が政治に参加できる国会をつくるよう求める要望書を提出し、のちに自由党を結成した人物です。  |
| 問14 | <b>答え</b><br>外国の機械や技術                    | 殖産興業では、外国の優れた機械や技術を積極的に取り入れることで、日本の近代産業を発達させようとした。  |
| 問15 | <b>答え</b><br>日中平和友好条約                    | 1978年に日本と中国の間で結ばれた条約は、日中平和友好条約です。   |
| 問16 | <b>答え</b><br>職業や住む場所を自由に選ぶこと             | 四民平等によって、それまで制限されていた職業や住む場所を、だれでも自由に選べるようになりました。  |
| 問17 | <b>答え</b><br>富山県                         | 米騒動は、1918年に富山県から始まり、その後全国へと広がっていきました。   |
| 問18 | <b>答え</b><br>日米安全保障条約                    | サンフランシスコ平和条約と同じ日に、日本とアメリカの間で結ばれた条約です。   |
| 問19 | <b>答え</b><br>大正時代                        | ラジオ放送は、1925年の大正時代に始まりました。   |
| 問20 | <b>答え</b><br>1978年                       | 日中平和友好条約は、1978年に日本と中国の間で結ばれました。   |
| 問21 | <b>答え</b><br>1965年                       | 日本が大韓民国（韓国）との間で日韓基本条約を結んだのは、1965年です。  |

---

|            |                    |  |
|------------|--------------------|--|
| <b>問22</b> | <b>答え</b><br>小村寿太郎 | 小村寿太郎は、1911年に関税自主権を回復する条約改正に成功した外務大臣です。  |
| <b>問23</b> | <b>答え</b><br>ラジオ放送 | 大正時代の1925年に始まった放送は、ラジオ放送です。  |
| <b>問24</b> | <b>答え</b><br>板垣退助  | 板垣退助は、自由民権運動をリードし、政治のあり方を変えるために日本で最初の本格的な政党である自由党を結成しました。大隈重信は後に立憲改進黨を結成し、伊藤博文は日本で最初の内閣総理大臣として知られています。 |

---